

【(仮称)蒲生学園】保護者説明会での質問等および回答(要約)

No.	項目	質問等	回答
1	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	南中学校敷地内に川柳小高学年校舎が建設されると、敷地が狭くなってしまわないのでしょうか。教育活動が十分にできますか。	確かに高学年校舎の建設部分で現在よりも敷地面積が少なくなってしまうですが、高学年校舎を建設した後も、200mトラックが2つ配置できる校庭規模を確保する予定です。また、高学年校舎の中にはマット運動や跳び箱運動等の運動が可能な仕様の多目的室を設けることで、小中学生が同じ時間に授業を行うことができるように考えると共に、子どもたちが不自由なく活動できるように、カリキュラムの編成や運動スペースのすみ分けなど、教育委員会と学校とで連携しながら計画を立ていきます。
2	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	3学園で施設が一体型であったり離れていたり、コンセプトが学園ごとに違ったりと、小中一貫校として統一感がなく、今後、他の地域の小中一貫校設立となったらどうなっていくのか心配です。	越谷市では平成27年度より第Ⅰ期小中一貫校教育を始め、現在第Ⅱ期小中一貫校教育を進めています。小中一貫教育では中1ギャップの解消や自己肯定感の高揚などが本市の課題となっていました。それらの課題解決には9年間を見通した学校教育が必要であると考えています。小中の教員が相互に児童生徒に関わるなど小中学校で子どもたちを育てていくことが可能なのではないかとということで小中一貫教育を進めています。 他市の事例として分離型の小中一貫教育も効果があることがわかっています。例えば、小中で校舎の離れているつくば市の竹園学園に視察に行った際には、校舎の離れた分離型の小中一貫校でも管理職や教職員が連絡を取り合い、十分に連携を図ることができるかと伺いました。蒲生小と蒲生南小については、学びの差が出ないように総合的な学習の時間等のカリキュラムをそろえ、9年間を見通した教育を行うことで小中学校の円滑な接続を行っていきたくと考えています。 また、越谷市が目指す小中一貫校は、総合的な学習の時間を中心に、地域性を活かした特色ある教育活動の部分を強調したものです。3学園のコンセプトが異なるのはそのためです。
3	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	令和4年度に蒲生小と蒲生第二小が合併する際に、2校で差が出ないようにすると聞いていましたが、修学旅行が日帰り1泊2日と違いが出るなど、行事で差があるように感じています。令和9年度に蒲生小と蒲生南小が離れた敷地になり、本当に差がなく学校生活を送ることができるのか不安です。	教育委員会と学校が連携を図りながら進め、大きな差が生じないようにしていきます。 現在取り組んでいる具体的な取り組みとしては、返事や掃除の仕方、授業の決まり等の学校生活のルールの統一化や総合的な学習の時間のカリキュラムの統一等を行っています。また、作品交流や中学校教員による小学校への出前授業等共通した交流を行っています。
4	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	延期により南中が蒲生地域に移らないと、中学校までの登校距離が短くなるという1つのメリットがなくなってしまう。その場合、学校選択制の利用も考えています。他校、例えば富士中では学校選択制を現在行っていない状況ですが再開する等、学校選択制で優遇してもらうことはできませんか。	学校選択制については、学校の教室に空きがある状況で行っています。もしも、現在の学区の中学校とは別の学校に通うということであれば、学校選択制を活用していただくことになります。 中学校選択制に関しては、その年度ごとに教室数に応じて選択可能、不可能の中学校を保護者へお知らせしており、市内の中学校と同様の形を考えていますのでご理解ください。

【(仮称)蒲生学園】保護者説明会での質問等および回答(要約)

No.	項目	質問等	回答
5	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	5年生は今回の延期で1年間だけでも新しい校舎で過ごすということができなくなりました。また、延期したことによって様々な費用が追加でかかり無駄なお金がかかるということになります。なぜ、このような議決になったか理解できません。これ以上延期をして事業自体が頓挫してしまわないか心配です。 市の方で全精力を上げて事業を進めていただけるということで頑張してほしいです。ぜひ、業者が参入しやすいようにしていただき、前回よりも悪いものにならないようにしてほしいです。	教育委員会としても全力で進めてまいりたいと思います。ご支援いただきますようお願いいたします。
6	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	小中一貫校も全国的に増えてきていると聞いていますが、春日部の義務教育学校などは視察等、参考にしているのですか。	小中一貫校の整備をするにあたって他市の先進事例を参考にする機会を設けています。春日部の江戸川小中学校や足立区新田学園、つくば市竹園学園など、様々な小中学校に視察に行くなど参考にしているところです。
7	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	新校舎の新しい設備と旧設備の差で事故や災害時の差が起きないように安全面についても十分に配慮してほしいです。	学習面のみならず、安全面に関しては子どもたちの命を預かる学校教育の側面からして大切にしていきたいと考えています。新校舎は防災の面からも避難所設営にも対応できる建物とし、地域の皆様にも活用してもらえる仕様とします。 一方で、新しい設備と旧設備で差ができてはいけないと教育委員会としても理解していますので、既存の学校施設においても校長と連携を図りながら、安全面の配慮を行っていきます。
8	小中一貫校整備 (3学園構想全般)	以前、明正小と蒲生小の学区改編があった際には、地域や保護者への説明会を行っていただけており、地域などへの説明が不十分なのではないでしょうか。	地域の皆様や保護者の皆様への説明については、今後も丁寧に進めてまいります。
9	議案に関すること	今年の議会で否決になったことを新聞報道で知りましたが、来年の議会で議案が通る見通しはあるのですか。また、どのような対策を立てているのですか。	今回の議会でご承認いただけなかった理由としては、約150億円の大きな予算がある中で、選定審査会の委員の人数が、条例上は5人以内と規定のところ、3人であったこと、価格評価と性能評価からなる総合評価一般競争入札方式であったが、2億4千万円高い業者が落札したこと、評価の割合に関すること、について議会からご意見をいただきました。教育委員会だけでなく、市役所全庁をあげてプロジェクトチームを組織し、対策を検討していきます。例えば、選定審査会の委員の人数は3人から5人にしていくこととしました。 また、議員の皆さまには丁寧に説明をさせていただき、令和5年9月の定例市議会でご承認いただけるよう鋭意努めてまいります。
10	議案に関すること	仮事業契約の締結まで進んでいるにも関わらず、なぜ9月定例市議会で議案が否決されたのか納得ができません。十分な説明がなかったのではないですか。どのような経緯で議会に説明をしたのですか。 ＜同内容ほか1件＞	教育委員会としては、丁寧な説明を心掛けてきたつもりですが、議会では選定審査会の委員や評価の割合等についてご指摘をいただきました。 そこで、全庁的プロジェクトチームを組織し、対応を進めることといたしました。議員の皆さまには丁寧に説明をさせていただき、令和5年9月の定例市議会でご承認いただけるよう鋭意努めてまいります。
11	議案に関すること	今後、見直した後の性能評価など評価の内容や割合の基準は選定審査会で審査をする前に議員に説明をするのですか。	おっしゃる通りです。丁寧に説明する中でご理解を賜りたいと思います。

【(仮称)蒲生学園】保護者説明会での質問等および回答(要約)

No.	項目	質問等	回答
12	議案に関すること	P F I 事業での議会否決というのは多くあることなのですか。	非常に申し上げにくいことですが、今回のような議決は事例がなく稀なことです。
13	議案に関すること	<p>来年の9月定例市議会での可決を目指すということですが、再否決になった場合はどうなるのですか。</p> <p style="text-align: center;"><同内容ほか1件></p>	<p>今回の議会においてご承認いただけなかった理由は、改善すべき点として明らかになっています。例えば、P F I 事業者選定審査会の委員数については、事業規模に対して委員が3人と少ないのではないかとご指摘いただき、条例で規定する上限である5人で進めていけるように調整を図っているところです。その内訳として、建築全般の専門家2人、教育施設に詳しい建築の専門家2人、総合的に学校教育に詳しい専門家1人を予定しています。また財務の審査に関しては、財務の専門家に別途依頼することを予定しています。</p> <p>また、学校教育部、教育委員会だけでなく、全庁的な取組として、プロジェクトチームを立ち上げて、進めていくことといたしました。</p> <p>再度ご承認いただけなかった場合は、さらに延期となるなど、影響が大きいため、議員の皆さまには丁寧に説明をさせていただき、令和5年9月の定例市議会でご承認いただけるよう鋭意努めてまいります。</p>
14	議案に関すること	今回の議会で否決になったのは、P F I 事業に反対ということが理由になっているのですか。否決理由は何ですか。	<p>一部議員の方からはP F I 手法は学校建設には適していないのではないかと、この声をいただいています。理由として、P F I は民間業者に維持管理等の運営を任せることにより市が業務を管理できないのではないかと懸念があるためです。市としてはモニタリングをしっかりと行い、業務が着実に実行されるようにしていきます。なお、従来の手法であると様々な業務について1つずつ市と関連事業者が契約を結んでいきますが、P F I 手法ではグループとして事業を行うため、それらの業務を一括で契約することで、効率的なリスクの管理や民間のノウハウを幅広く活かすことができる点は、P F I 手法のメリットです。</p> <p>今回ご承認いただけなかった理由として、事業者の選定の方法についてのご指摘がありました。事業規模が約150億円に対して、選定審査会の委員が3人では少ないのではないかと、という審査会の委員人数についてのご意見もいただきました。そこで、3人の審査会委員（建築関係1人、教育施設関係1人、財務関係1人）から条例上で上限の5人（建築関係2人、教育施設関係2人、教育関係1人）とすることとしました。財務関係の方が建築について評価するのは大丈夫なのかというご意見もあり、財務に関しては別の機関に依頼し事業実施が可能な計画を立てているか等の財務審査を行ってもらうこととしました。今回ご指摘いただいた内容を踏まえ、改めるべきは改め、議員の皆さまには丁寧に説明をさせていただき、令和5年9月の定例市議会でご承認いただけるよう鋭意努めてまいります。</p>
15	延期による影響に関すること	延期に伴い、追加でかかる費用はどれくらいですか。	延期に伴い、例えば蒲生小学校の仮設校舎リース延期費用、川柳小学校仮設校舎の増設等で概算ですが約2.7億円かかる見通しとなっています。

【(仮称)蒲生学園】保護者説明会での質問等および回答(要約)

No.	項目	質問等	回答
16	延期による影響に関する事	現状、蒲生小学校の校庭での運動会ができなかったり、休み時間等の校庭が学年ごとでの使用であったりなど、延期に伴いカリキュラム上、行事や運動スペース等に問題はないのでしょうか。	教育委員会と学校で連携を図りながら、カリキュラム編成を共に進める等、学校行事や使用スペース等に問題がないように課題を解決できるように進めていきます。
17	延期による影響に関する事	子どもたちに学園開校延期の経緯について、説明する場を設けてほしいです。学校の先生たちの負担にならないようにお願いしたいです。	関係する小学校の校長先生と相談して、先生たちの負担にならないように、説明方法について検討し次第、子どもたちに説明ができるようにします。
18	延期による影響に関する事	子どもは旧蒲生小校舎が解体されている工事を見ており、新校舎への期待を膨らませています。その中での延期であり、子どもたちの気持ちを考えてほしいです。	他の説明会でも、当事者である子どもたちへの心境への配慮を心配する声をいただきました。今後、子どもたちに現在の状況について説明ができるように、方法等を検討していきます。
19	P F I 事業者選定審査会に関する事	選定審査会の委員は、前回の3人中何人が残って5人となるのですか。	前回の選定審査会の委員から全員を変更し、新しく5人を選出することになります。
20	P F I 事業者選定審査会に関する事	なぜ最初から5人ではなく3人しか選定審査会の委員を選出しなかったのですか。	選定審査会の委員の人数については条例により人数を5人以内と定めていますが、案件により異なる専門家により審査するものです。今回、建築関係、教育施設関係、財務関係の3つの視点からの評価が必要と考え、選定審査会の委員を3人としました。しかしながら、このたび約150億円という規模であり、委員数が少ないのではないかとこの議会からのご指摘がありました。また、3人の選定審査会委員が性能評価のすべてを評価していたことから、建築・施設に関する評価をするにあたり建築関係・教育施設関係の専門家を中心に、今後は、上限の5人に委員数を増やすこととしました。
21	P F I 事業者選定審査会に関する事	そもそも上限の5人を最初から選んでおけばよかったのではないのでしょうか。	越谷市がこれまで行ってきたP F I 事業については3人の選定審査会委員で行ってきました。今回の件についても、建築関係、教育施設関係、財務関係の3つの視点からの評価が必要と考え、当時は3人の委員で審査を行うという判断をしたところです。しかし、今回議会でご指摘をいただいたことを踏まえ、3人ではなく5人に委員数を増やすこととしました。
22	P F I 事業者選定審査会に関する事	選定審査会の委員は条例で5人までと決まっているようですが、そもそも5人の審査で十分に審査ができるものなのでしょうか。もっと多くの専門家がいる方がよいのではないのでしょうか。	他市の先進事例では中には8人というところもあるようですが、3～5人の選定審査委員ということが多いという状況です。条例上の上限である5人で十分な審査ができると認識しています。
23	入札に関する事	入札の意思表示をしたグループ2者のうち1者が落札者となり否決となりましたが、今後は落札されなかったもう一方のグループが事業を進めていくのですか。それとも、他のグループも新たに事業に参加することができるのでしょうか。	再度入札公告を行い、参加事業者を募集しますので「やり直し」ということとなります。前回参加した2グループはもとより、新たに、他のグループが入札に参加することも可能です。
24	入札に関する事	入札参加が2者というのは少なくないですか。	2者という数字では少なく思えますが、1者が15～16社の企業から構成されるグループとして入札に参加しており、多くの企業の皆様に参加いただいています。

【(仮称)蒲生学園】保護者説明会での質問等および回答(要約)

No.	項目	質問等	回答
25	入札に関すること	次に参加事業者を募集した際に、参加事業者が出なかった場合はどうなるのですか。	前回参加いただいた2グループを含め、新規で参加することも可能となります。参加事業者が「0」にならないよう取り組んでいきますが、もし参加事業者がない場合は、事業自体が流れてしまいます。
26	その他	令和8年度の新校舎への引っ越しの際、現在の蒲生小学校に忘れ物等をしてしまった場合、荷物を新校舎に移動してもらえるのでしょうか。	校舎の引っ越しの際に忘れ物等で荷物を残してしまっても、学校から連絡を差し上げます。荷物が残ったままで校舎を解体することはございません。
27	その他	議員は今の蒲生小の配置図等を見ているのですか。	議員の皆さまには計画の上での図面等の情報提供はしています。
28	その他	1年ごとに35人学級の学年を増やしていくということですが、今後どのようになっているのでしょうか。	国の施策に1年先行して、35人学級を進めていく計画となっています。
29	その他	蒲生小や蒲生南小が進学する南中学校の生徒・保護者に南中敷地内に建設される川柳小の高学年校舎について説明がされていません。今回の説明会で、川柳小の高学年校舎の説明があるとありがたかったです。	今回の説明会は学園開校延期により関係がある学年や地域の方々、特に(仮称)蒲生学園に関わる説明会であったため、(仮称)川柳学園の説明が少なくなり申し訳ありませんでした。
30	その他	旧蒲生小で2クラスを3クラスに分けた少人数制で授業を行う取組がとてもよかったです。今は蒲生小と蒲生第二小の合併により学校規模が大きくなり、そのような少人数指導がなくなってしまい残念です。今後、カリキュラム編成を行う際に、少人数指導もぜひ取り入れていただきたいです。	少人数指導に関しては、教員数に加え、空き教室の状況で実施可能かが変わってきます。今後、教室数の状況なども鑑みながら、校長と連携を図り、取り組んでいきます。
31	その他	現在野球で蒲生小学校の校庭を使用しています。今後、新校舎が完成するまでに工事などで校庭が使用できない期間はありますか。	事業延期に伴い、令和5年2月に完了予定の旧蒲生小校舎等解体工事後から令和5年度中は仮囲いをするなど安全確保を行い蒲生小学校の校庭を使用することができます。また、安全を確認次第、学校や地区センターから校庭の使用について学校使用団体の皆さんにご案内します。

◆質問等の件数：33件（31 + 同内容2）